

平成28年度 練馬区立立野小学校 学校評価の報告

春暖の候、保護者、地域の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年末は学校評価のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この度、平成28年度の学校評価につきまして、学校関係者評価委員会を開催し評価結果の取りまとめを行いましたので、ご報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員会について

- (1) 開催日時 平成29年2月23日(木) 午前10時30分～午前12時30分
 (2) 開催場所 本校応接室
 (3) 評価の流れ

- ① 学校が、平成28年度練馬区立立野小学校経営計画に基づき、教員が自ら行った評価・保護者アンケート・児童アンケートの結果を考察し、改善策を策定する。
 ② 結果と考察、改善策について、学校関係者評価委員会で検討する。

2 評価結果の取りまとめについて

- (1) 学校関係者評価委員会での検討を経た評価結果の取りまとめを公表する。
 (2) 練馬区教育委員会に報告する。
 (3) 次年度の本校教育課程編成に生かす。

3 評価者等について

- (1) 教員 ① 実施時期 平成28年12月下旬実施(年間を通した評価)
 ② 実施人数 16人(全学級担任・専科・養護教諭等)
 ③ 方法 質問紙法による
 (2) 保護者 ① 実施時期 平成28年12月中旬実施
 ② 有効最多回答数 314人(在籍児童の77.1%)
 ※項目によって有効回答数が少ない場合もあります。
 ③ 方法 質問紙法による
 (3) 児童 ① 実施時期 平成28年12月中旬実施
 ② 実施人数 277人(3～6年生児童)
 ③ 方法 質問紙法による

4 評価項目について

評価は、4段階で行う。

- (1) 教員 4段階の評価基準にあてはめた回答
 (2) 保護者 4=とてもそう思う 3=そう思う 2=あまりそう思わない 1=そう思わない
 (3) 児童 4=とても 3=だいたい 2=あまり 1=ぜんぜん

5 根拠となる資料

(1) 評価項目別

評価者	評価項目-1	()内は 昨年度	評価結果
教員	相手を意識して、話を「よく聞く」ことができるように、学年・学級に応じた取組を行う。		3.00 (3.00)
保護者	話の聞き方をしっかり指導しながら授業に取り組んでいる。		3.30 (3.34)
児童	私たちがしっかり話を聞けるように、話の聞き方を教えてくれている。		3.66 (3.60)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・学級指導や各学習の時間に、大切な学習規律として、「話をよく聞く」ことの指導に努めた。 ・毎週月曜日の全校朝会や音楽朝会、児童集会や避難訓練など、大勢が集まる際のルールとして、集まったらおしゃべりをしないことや、話をしている人の方に体を向けることを、全校で指導した。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、全校での集まりや学年での集団行動等において、「黙って集合する・話をよく聞く」ことは、立野小のルールであることを、児童に徹底させていく。目と耳で聞けるようにさせるため、話を聞く姿勢を重点的に指導する。 ・今後も、学年の発達段階に合わせた話の聞き方の指導を継続して行っていく。 		
【学校関係者評価】 ○学校だけの問題ではなので、家庭でも指導が必要だと思う。 ○相手を意識してよく聞くことが、なぜ必要なのかを繰り返し指導していくことが大切である。 ○幼稚園との交流学習では、1年生は年長としてお手本になるとてもよい態度だった。			

評価者	評価項目-2	()内は 昨年度	評価結果
教員	様々な表現方法を使って自分の考えを伝えられるように、学年・学級に応じた取組を行う。		3.00 (3.00)
保護者	授業の中に、自分の考えを文章に書いたり、友達と交流したりする時間を設け指導している。		3.36 (3.43)
児童	授業の中で、自分の考えを書いたり、友達と交流したりする時間を設けてくれている。		3.71 (3.78)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・研究教科の体得だけでなく、各教科の字音や活動など、学校生活を通して、児童相互の考えを交流する時間を大切に授業展開に努めた。 ・交流活動(話し合い活動)はいろいろな教科で取り入れることができた。また、自分の考えをノートにまとめ、書いたことを基にしてそれを交流活動につなげるなどの工夫をした。 ・今年度は、授業の終わりに振り返りの時間を確保して、自分の考えや感想を書いて次時の学習につなげられるように指導した。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に応じ、児童が取り組みやすいように、朝の会や帰りの会等の授業時間以外の時間においても、話形を揃えたり、話の手順を示したりして、苦手意識を軽減し発表への意欲が高まるよう継続して指導していく。 ・交流のねらいや内容がよく分かる掲示物等の工夫に努める。 ・今後も、児童相互の学び合いを充実させるために、学習や活動の中に交流の時間を意識的に取り入れる。 ・級友の様々な表現方法を広められるように意識して指導する。 		
【学校関係者評価】 ○5年生は、ディベートの授業を通して自分の考えをまとめて、きちんと伝える学習を続けることで自信がもてるようになった。 ○3年生では、授業後に振り返りを発表している。自分とは違う意見が出てくるので、今まで自分では気付かなかったことにも気付くことができるのでとてもよい活動だと思う。			

評価者	評価項目-3	()内は 昨年度	評価結果
教員	授業の始めにめあてを示し、終わりに振り返りを行い次時の授業に生かす。		3.13 (3.25)
保護者	学習のめあてを児童に示して授業を行い、めあてに沿った評価を行っている。		3.36 (3.35)
児童	私たちがめあてをもって学習に取り組めるようにしてくれている。		3.69 (3.77)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は特に、算数の学習において、単元全体の学習計画を立て、めあてに沿った指導と評価、めあて達成のための指導・支援の工夫に努めた。 ・めあて・まとめを書くことによって、児童に一単位時間の学習の振り返りをさせることに努めた。 ・学習のめあては示しているが、振り返り(まとめ)については教科によって不十分なときがあった。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も、学年に応じ1時間の学習の始まりやまとめの仕方を工夫し、実践する。 ・板書の工夫によって、1時間の学習の全体が分かるようなまとめ方に努める。 ・学習のめあてを達成するために、継続して個別的指導や個に応じた対応の充実を図る。 ・来年度も、教科担任制や交換授業を継続し、めあてに沿った学習の充実を図る。 ・振り返りまで含めた時間配分を意識して教材研究を行う。 		
【学校関係者評価】 ○この改善策で進めてほしい。			

評価者	評価項目-4	()内は 昨年度	評価結果
教員	挨拶と返事をする習慣を身に付けさせる。		2.53 (3.18)
保護者	児童が進んで挨拶をしたり、名前を呼ばれたらしっかり返事をするよう指導している。		3.30 (3.44)
児童	私たちが進んであいさつや返事をするように気をつけてくれている。		3.64 (3.70)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通し、学年ごとで実施した挨拶運動では、児童が分担して校門で他の児童を迎え、挨拶する体験をさせることで、挨拶の大切さや挨拶をした時のすがすがしさなどを実感できるよう努めた。 ・挨拶や返事をする習慣は概ね身に付いてきているが、様々な場面で進んで挨拶のできる児童にしていきたい。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、年間を通し、挨拶や返事をする習慣を身に付けさせる指導、援助を繰り返し行う。また、生活指導の目標として取り組む等、常に児童に意識させるような工夫を継続して行う。 ・来客・来校者に対する挨拶も積極的に行うよう指導していく。 ・学習規律や集団行動での返事について引き続き指導していく。特に、呼名時の挨拶を徹底するよう働きかける。 ・来年度も、毎朝の出席状況報告活動を実施し、管理職による児童への挨拶、マナー指導を継続して行う。 ・挨拶や返事は、「元氣よく」を目指しているが、場に応じた声の大きさでできるように指導していく。 		
【学校関係者評価】 ○挨拶は、小学校ではできていたのに中学校へ上がる発達段階の中でできなくなることがある。 ○学校外で出会った時、挨拶できる子もいるが、驚いて挨拶ができなくなってしまうこともある。落ち着くと挨拶を返してくれる。 ○幼児教育においても、返事は大事だと考えて取り組んでいる。 ○家庭でも挨拶や返事を習慣化させる必要がある。 ○元氣な返事はよいが、場に応じた声の大きさの指導を継続していく。			

評価者	評価項目-5	()内は 昨年度	評価結果
教員	いじめの早期発見に向け、年3回の「学校生活アンケート」を実施し情報を学校全体で共有するとともに、組織的にその解決を図る。		2.93 (3.86)
保護者	児童が安心して学校生活を送れるように見守ってしてくれる。		3.45 (3.49)
児童	困ったことや心配なことがあると声をかけてくれたり、相談にのってくれる。		3.10 (3.38)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回のアンケートの結果から、児童間の人間関係や悩みを把握することができ、トラブルの芽をつむことができた。また、休み時間には子供たちと一緒に遊ぶなどの活動を通し、日常から、子供同士の人間関係などの把握に努めた。 ・専科教員も、担任と同じ歩調で目配りに努めた。 ・校内では、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、学校生活支援員と連携して児童理解に努めた。また、学校教育支援センターや子ども家庭支援センターなど、関係機関との情報交換を密に行った。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、児童間の人間関係や行動に対して目配りし、わずかなサインも見落とさないように児童理解に努める。 ・情報の把握と共有のために、年3回の学校生活アンケート実施後の指導を確実にを行い、未然防止・早期発見に努める。また、いじめや不登校等に関する研修を実施し、児童に対する観察力・理解力の向上を図る。 ・来年度も、校内の支援委員会での協議や、スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・学校生活支援員と連携し情報交換を密に行い児童理解に努める。 ・言葉遣いについては、見逃したり見過ごしたりすることがないように、全教職員が即時、毅然とした態度で指導する。 ・保護者や外部機関との連携を密にしていこう。 		
【学校関係者評価】			
○いじめは、どこにでもあるという前提で考えていく必要がある。			
○いじめが起こってからではなく、未然防止を徹底してもらいたい。			
○学校生活全般で、子供一人一人の性格や様子をよく見て個に応じた対応をしてほしい。			
○言葉遣いには大人も注意を払う必要がある。子供の言葉には、大人が注意を払い、その場その場の即時対応で正していく必要がある。			

評価者	評価項目-6	()内は 昨年度	評価結果
教員	読書月間だけでなく、年間を通じて読書活動を継続し、計画的に学校図書館を利用させる。		2.23 (2.61)
保護者	児童が進んで読書をしたり、学校図書館を利用したりするよう指導している。		3.13 (3.23)
児童	読書を勧めたり、学校図書館を利用しやすいようにしたりしてくれている。		3.30 (3.37)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べ、児童への働きかけが不十分だった。読書の量(冊数、ページ数)には個人差があるので、本に親しむように努めさせながら、読書活動を進めた。しかし、読書好きな児童とそうでない児童との差が大きく、指導の難しさを感じている。 ・本年度も、読書活動協力者を依頼し、図書室の整備・蔵書の整備・読書環境づくりを継続的に進め、学校図書館ボランティアの指導・援助を行い、図書室や学級文庫が整えられることができた。来年度も、同様に依頼して読書活動の充実を図りたい。 ・保護者の図書ボランティア「読みママ」活動や学校図書館ボランティアが定着している。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校の特色ある教育活動のひとつに、「読書活動の推進」を位置づけ、児童への啓発、体験活動を継続して行っていく。 ・学校全体で、読書が習慣化する活動を計画、実施する。「金曜日朝読書(スタディールーム)」等の活動を実施していく。 ・読書月間の充実を図り、多様な読書活動を体験させる。(読み聞かせ、ブックトークなど) ・保護者が主体となる学校図書館整備ボランティア活動の支援をしっかりと行う。 ・図書室で本を借りても読んでいない児童もいるので、貸出記録によって、本の紹介をさせるなど、交流の時間をとる。 		
【学校関係者評価】			
○高学年になるに従い、期限内に借りた本を返していない現状があるため、決まりを守る大切さを意識させていく。			
○読み聞かせや図書ボランティアの活動をよくやってくれていてありがたい。			

評価者	評価項目-7	()内は 昨年度	評価結果
教員	中休みは、全校児童を校庭に出し、様々な運動を経験させる。		2.82 (3.58)
保護者	児童が運動に親しむようにしてくれている。		3.37 (3.40)
児童	中休みは、外遊びができるように時間を確保してくれている。		3.68 (3.71)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通し、休み時間は外で遊ぶように指導・啓発を継続して行った。 ・なわ跳びや持久走など、具体的な目標がはっきりしている運動ほど、よく外に出て遊んでいる。 ・教員は、子供たちと一緒に遊んだり側で見守ったりして、児童を励ましていた。 ・体力・運動能力調査の結果から、投げる力の向上に力をいれ、休み時間の遊びの中に、投げる遊びを取り入れた。 ・今年度は、全学年が参加する「タテノンピック」を実施して、児童に遊びを紹介した。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、休み時間は外遊びの励行を継続して行う。 ・なわ跳び、持久走は体力つくりとして定着してきたので、今後、なわ跳びや持久走に加え、全校で取り組める体育的活動を工夫し取り入れて、児童の体力向上に努める。 ・「タテノンピック」を単発ではなく、継続して取り入れていく。内容や運営の見直しをしていく。 		
【学校関係者評価】			
○タテノンピックの活動を是非見てみたい。			
○子供たちに様々な投げる経験をたくさんさせてほしい。			

評価者	評価項目-8	()内は 昨年度	評価結果
教員	学校・学年だよりは毎月発行し、学級だよりも毎月1回以上発行する。		2.81 (3.13)
保護者	学級だよりを発行し、児童の様子等を知らせている。		3.53 (3.47)
児童	学級だよりなどで、私たちの様子をおうちの人に知らせてくれている。		3.77 (3.84)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年だよりは毎月発行した。特に、学校だよりでは、児童の学習、生活の活動場面を、写真資料などを使って紹介し、伝えることができた。また、ホームページの更新もこまめに行うことができた。 ・学級だよりの発行については、学級間に差があり、教員の自己評価にも差が現れた。発行回数の点だけでなく、内容を重視した便り等の作成に努める。 ・学校と家庭が連携、協力して教育にあたるために、学校生活や児童の様子を保護者に伝えることは重要である。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も、情報発信は、学校・学年・学級だより等の紙面とホームページの双方から発信していく。 ・学級だよりは、年度当初に個人の目標を立て、目標達成を目指して行う。学期ごとに見直しを行う。 ・保護者会・個人面談等では、児童の様子を伝える工夫し、質の高い情報交換が行えるように努める。 ・伝達が必要な情報については、来年度も、区学校連絡メールやホームページも活用し、迅速かつ的確に伝える。 		
【学校関係者評価】 ○今まで通りに進めてほしい。			

評価者	評価項目-9	()内は 昨年度	評価結果
教員	専門家や地域人材をゲストティーチャーとして招いたり保護者ボランティアに授業の協力を依頼したりする。		2.81 (3.33)
保護者	ゲストティーチャーや学習ボランティア（保護者を含む）等、外部の方と連携して教育を進めている。		3.27 (3.21)
児童	私たちの学習のために、ゲストティーチャーやボランティアの方を呼んでくれている。		3.42 (3.69)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の学習内容と時期に関連させて、計画的に外部への協力を依頼している。 ・ゲストティーチャー等の外部講師等による学習は、2～6年生で実施した。 ・保護者ボランティアについては、学年の学習内容によって依頼数に差はあるが、1・2年生では道具作成の補助や校外学習での安全管理など、様々な場面でご協力いただいた。学校だよりの3月号の中面で紹介する予定である。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、児童の学習内容に関連した体験的学習を味わわせるよう努める。 ・保護者ボランティアについても、校外学習時での安全管理や子供たちの作業補助などでご協力をいただく。 ・区の地域人材活用事業の計画・推進を、地域の皆様のご協力をいただきながら、平成30年度の発足に向けて進めていく。 ・学習ボランティアの確保については、今後も継続していく。 		
【学校関係者評価】 ○今後も活用していただきたい。 →区の地域人材活用事業について、平成30年度の発足に向けて、人材紹介や確保のお願いをしている。			

【全体を通して】 本校の教育活動について、保護者の皆様には温かい励ましの評価をいただき、心より感謝申し上げます。本年度は、昨年度に比べ、どの項目も若干ではありますが、肯定的評価をいただきながらも、保護者の皆様のポイントが下がっていることを踏まえ、来年度の教育活動を一層充実させていかなければならないと受け止めております。また、教員の自己評価が下がっている点を踏まえ、チームとして支え合いながら全児童を見守っていただけるように学校体制を整えて、教育活動を進めていきます。これからも子供たちの健やかな成長を支援するよう努めて参りますので、どうぞよろしく願いいたします。			
【学校関係者評価委員の皆様からの自由意見】 ○子供が、敬語が使えない事を心配している。 ○学校・家庭・地域のどこにおいても、「こんにちは」や「さようなら」を必ず言うようにしたい。 ○知らない人だからしょうがないと思うが、自分から挨拶をしない子供が割と多く感じる。 ○「ありがとう」を言わない子供がいる。促して初めて言うことができる。しつけをしっかりとしていきたい。 ○見守り等の活動が長いので、児童の態度を見て何かあったかが分かるようになり、声かけをしている。			

(2) 保護者からの自由記述（同内容のものはまとめてあります）

ア 継続・発展を望む意見

児童の様子から	<ul style="list-style-type: none"> ○子供が、時間を意識してメリハリのある行動・生活を送れるようになった。 ○子供がいつも楽しく学校に行くのが分かります。 ○子供が明るく育っている。 ○充実した学校生活を送っています。 ○勉強・運動を前向きに取り組んでいるのもクラスの環境・学校全体の環境が良いからだと思います。
学校の雰囲気 教職員の対応	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な児童に対しても、チームとして連携してご指導いただいております。 ○多感な時期の子供たちの心に寄り添った指導・アドバイスをいただき、タイムリーな対応に感謝しています。 ○先生方が子供たちと一緒に外で遊んでくださるので感謝しています。体育推進校としてもっとアクティブに元気に皆で交流できると良いと思います。 ○担任、養護教諭、教科担任等の先生方の連携が非常によいと感謝しています。 ○面談で日頃の態度や様子を丁寧に教えていただき参考にして、新たに学校生活に臨めるのでありがとうございます。 ○学習面で、先生との関係や友達との関係も、毎日大事なことを発見して話してくれます。
心の教育 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ○先生が子供へ差別的な発言や体罰をしていないことがわかり安心です。 ○先生方の子供たちに対する温かい心や配慮、優しさを日々感じています。
学 習	<ul style="list-style-type: none"> ○日直の際、ニュースを話題にするのがとてもよく、他の機会にも拡げてほしいです。 ○自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝える工夫を心がけるようになりました。 ○子供たちのやる気を引き出すような指導をしてくださるのがありがとうございます。今後もお願いします。
行 事	<ul style="list-style-type: none"> ○子供たちを思っの地域行事も多く、地域と密になれて、立野小の児童になれて良かったです。
<p>本校の教育活動をいつも支えていただき、ありがとうございます。また、教職員への励ましの言葉も多数いただきました。今後も、子供と共に過ごす時間を大切にし、「よく分かる授業」「充実した授業」に努め、一人一人の個性やよさを大切にする教育を続けていきたいと思ひます。</p> <p>また、「豊かな心とつよい体」を育てるために、教職員一丸となって、道徳教育やたてわり活動、体育的活動などに、より一層力を入れていきます。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>	

イ 改善を望む意見・質問

	ご意見・ご質問	学校からの回答
学級経営 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・子供同士解決で終わりではなく、両保護者にも事情説明の連絡がほしいです。 ・子供の悪いところの情報もほしいです。 ・学年で下校時刻を合わせてほしいです。 	<p>貴重なご意見ありがとうございます。極力、学校のトラブル関係は即日に連絡するようにしておりますが、今後とも徹底を図っていきます。タイムラグのないように、日常的に保護者の方との連絡方法等について詰めていきます。また、内容によっては、面談で直接対面の上、ご説明できるように努めます。</p> <p>児童の安全を確保するためにも、学年単位や同時刻下校を推進していきます。</p>
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・和太鼓の演奏会等を学校行事として扱ってほしい。 ・副島賢和先生の講演会を児童向けに行ってほしい。 ・音楽会でオーディションに落ちた友達が先生にお願いして別の楽器の担当になった。皆に経験させる場を設けてもらえたらいいなと思ひました。 	<p>学校行事は、授業時数との関係で慎重に精選して実施しています。そのため、学習効果が期待される順番で決定されます。年度によって優先順位は変わりますのでご了解ください。</p> <p>副島賢和先生には、児童向け講演会も依頼しておりますが、先生ご自身がご多忙のため予約が取れない状況です。まずは地域・保護者からといたしました。次年度以降も交渉を継続します。</p> <p>オーディションを行うために、事前に十分にまた、平等に行えるように細心の注意を払いますし、複数の大人に加わってもらい審査をしています。しかし、子供たちへの説明不足で悲しい思いをさせてしまったことは反省しています。</p>
心の教育 人権教育	<p>「いじめアンケート」で本当に期待される効果はあるのでしょうか。改善されないの、事実を書かない子供がいると聞きます。</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。このご指摘を真摯に受け止め、改善に学校全体で全力を尽くします。いじめはあってはならないものです。いじめには、毅然とした態度で臨まなければなりません。なぜならば、子供の中には自分の行為がいじめだと認識していない子供が多いためです。だまっていたり、見過ごしたりすることで、被害者が増えていきます。加害者の意識を変えていかないと悲しい思いをする子供が後を絶たないのです。子供たちには真実を語ってほしいと願っています。学校としては、保護者の皆様や外部機関とも連携して子供を守っていきます。そのためにも、保護者の皆様の協力を切にお願いします。ご家庭でも、その場しのぎではなく、勇気をもって語るように話をしてくださいようお願いします。解決には時間がかかるかもしれませんが、真実を語ってくれることが被害者および加害者の両方の子供を救う道でもあります。</p>
	<p>帰りの会の「いいとこみつけ」の発表は、本来は、各家庭・親の影響が多いため、学校では効果がないのではないのでしょうか。</p>	<p>友達のよいところを見つける活動は、必要な活動であると考えています。とすれば、集団生活の中では、他人の嫌なところばかりが目につけてしまいがちです。よいところは、よほど心が揺さぶられない限り自然に印象に残るものではありません。意識して探すことで印象に残りますし、模倣しようとすることもできます。この経験の積み重ねによって人間形成がなされることから大切な日常の活動だと考えています。ご指摘の通り、各家庭・親の影響が大きいのは事実です。更に効果を上げるためにも、学校生活の中でよい行いを見つけて褒める活動を推進していきます。</p>

図 書	<ul style="list-style-type: none"> ・1年に比べて図書の時間が少ない気がします。 ・借りる本の冊数を増やしていただけないでしょうか。 	<p>学習内容の関係で1年生に比べて図書の時間が減っているのは事実です。しかし、学校生活の中で区立図書館やボランティアの皆様のお力を借りて図書に親しむ活動を多く取り入れていきます。</p> <p>蔵書数に限りがありますし、子供たちの嗜好もありますので、この点も考慮して検討していきます。</p>
学級編成	学級編成を考慮していただきたい。	学級編成は、学校運営の中で最も大事な事だと考えています。学年の様子や子供たちの将来をも考慮して適切に編成していきます。
評 価	専科の評価規準がよく分かりません。	評価は適切になされていますが、分かりづらかった点については申し訳ありませんでした。今後は、分かりやすく説明できるようにしていきます。評価に関して疑問点や質問等ありましたら、遠慮なくお問い合わせください。
	単純なミスかもしれませんが、自由意見欄がなかったことに、保護者との双方向を学校が望んでない印象を受けました。	本当に申し訳ございませんでした。次回からは気をつけます。
	記名式でない方が書きやすいです。	記名に関して、お書きいただいた内容によっては、学校からさらに詳しくお話を伺わせていただいたり、お返事したりする場合がありますので、お書きいただけるとありがたいです。子供たちの健やかな成長のために、保護者の皆さんと学校は、双方向な関係でありたいと思いますので、アンケートには、遠慮せずにお書きください。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ等、感染の恐れがある場合は、学校 HP に載せていただきたいです。 ・インフルエンザ等の感染症は、どの割合で学級閉鎖になるのか知りたいです。 	<p>現在、対象の学級には学校連絡メールとお便りで連絡しています。保健だよりで大まかな様子をお知らせしていますので、参考にしてください。予防の観点から、感染経路は学校だけとは限りませんので、特に流行の時期は、手洗い・うがい等の励行と不要な外出を控えていただくこと、また、外出の際は体に見合ったマスクの着用をお願いします。</p> <p>学級閉鎖は、一般的に学級児童数の3割程度が目安ですが、発症の時期の状況等を鑑みて学校医のアドバイスを受けて決定します。</p>
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・北校舎のトイレ改装をお願いします。 ・校庭の土壌改善をしてほしいです。 	<p>どちらも長年の懸案事項です。区の方針で順次改修工事が進められている教育委員会主導の大規模工事扱いになります。今後も継続して、早期に改修・改良工事を行っていただくよう要望していきます。それまでの期間、子供たちが快適に過ごせるように、できる限り最善の努力をしていきます。ご理解・ご協力をよろしく願いたします。</p>
その他	3学期制になり、個人面談が年一度になってしまい、先生とのコミュニケーションが遠のいてしまったのが残念です。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。日常は、子供たちが安心して楽しく安全に過ごせるよう、気を配っております。放課後等の時間を活用し、保護者の皆様との対応などに努めてまいります。些細なことでも遠慮なく、いつでもご相談ください。そのためにも、日常的にお子様とのコミュニケーションを十分とっていただくようお願いいたします。
	連合図工展に毎年見に行っていますが、立野小の展示は、入り乱れていてかわいそうだなと思います。	連合図工展では、各校の展示場所が毎年ローテーションで決められています。限られたスペースの中で、出品作品の全てをいかによく見せるかが図工専科の悩みどころであり、腕の見せどころでもあります。作品の展示方法については、出品者である子供に確認して許可を取っています。個々の作品としてだけでなく、作品の組み合わせの相乗効果もお楽しみいただけると幸いです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開は、土曜授業も見やすいですが、学校行事が連続していたので、バランスを考えていただければと思います。 ・平日の学校公開も検討してください。 	<p>できる限り行事が連続しないように考慮していきます。</p> <p>練馬区教育委員会の施策で、第二土曜日(4月・5月・3月を除く)は振替なしの授業日となっております。学校公開とは銘打っていない土曜授業日でも、学校公開同様にご自由に参観していただいております。このことについて、広報が行き届かずご迷惑をおかけして申し訳ございません。なお、本校の授業日は全て参観可能ですので、担任に連絡の上お時間の都合に合わせて是非ご参観ください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の献立で、セレクトメニューを増やしてほしいです。 ・リクエストメニューを全学年にしてほしいです。 ・配膳方法に問題があるため休み時間がないようです。 	<p>調理状況や費用対効果、アレルギー対応等考慮しなければならない課題がありますので、課題クリアの可能性も含めて検討していきます。</p> <p>リクエストメニューは、家庭科の発展学習としての献立を考える学習である要素と、小学校での思い出給食の要素があるため、6年生で実施することとしています。ご了解ください。</p> <p>配膳方法は、各担任に任されています。担任の指導方針もありますが、子供に不利益が生じる等の問題があれば改善していきます。</p>
	ウサギが一匹になってしまったので、他の動物を増やすと、子供の情操教育に良いかなと思います。	御意見ありがとうございます。本校では、毎年4年生が年間を通してウサギのお世話をしています。現在の4年生以上の子供たちは、ウサギのお世話を通して命について学んでいます。その点で、情操教育の一端を担うことができていると考えます。今後は、動物アレルギーとの関係や飼育環境、飼育費用等も考慮しながら、検討していきたいと思っております。

今年度も、学校評価アンケートへのご協力をいただき誠にありがとうございました。今後の教育活動の中で改善を図っていくことにご期待に応えていきたいと考えております。引き続き、お子様の学校生活に対するご心配やご相談など、お気軽にお声かけをいただければと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。